

巻頭特集

会津まほろば街道を往く

会津まち歩記
喜多方市高郷町付近
みんな知ってた？
会津の「人・物・歴史」

会津原寸大図鑑
山姥のかもし



AIZU
イイモノ

part 13



会津たかさと産こしひかり「^{うまい}美米」

会津ファン vol.15

AIZU FAN

発行/会津ファンクラブ事務局
(一般財団法人会津若松観光ビューロー内)
〒965-0041 会津若松市駅前町1-1(会津若松駅内)
TEL.0242-23-8000 FAX.0242-23-9000
e-mail/aizufan@tsurugajo.com
2021年7月

1500年の時を超えて、 仏都会津・祈りの道 会津まほろば街道を往く



▲会津まほろば街道沿いにあるロードサイン

人や物資が往来し、交通の基盤となることで地域の歴史や文化を育んできた街道。会津には領主・藩主が整備した5本の道があり、「会津五街道」と呼ばれています。縄文・弥生と古くから多様な地域との交易があった会津には、もう一つ修験者が歩きたいにしえの道があります。南は日光へ向かう下野街道、北は山形県高島地区まで続く古道。里人が、守り続けてきた文化、暮らしたの魅力を語り継ぐと、近年、関係自治体とともに関連団体の皆さんが、会津まほろば街道と名付け整備されました。

古墳時代からの遺跡や由緒ある神社仏閣、貴重な文化遺産などが連なる街道を歩いてみましょう。

※新型コロナウイルス感染症により、掲載内容と変更になる場合がございます。ご来訪の際は、事前の確認をお願いいたします。



会津美里町の法用寺 三重塔



720年に得道(徳道)上人によって創建され、後に徳一大師によって再建されたといわれる会津で最古級の寺院。雪国会津には珍しい三重塔は(県指定重要文化財)会津に現存する唯一の塔です。高さは20mを超え、その姿は県内にある三重塔の中でも最も美しいといわれます。塔の前は、祈りの里「仏都会津」を一望できる絶景スポット。

法用寺アクセスDATA

- 【住所】会津美里町雀林字三番山下3554番地
- 【電車】JR只見線 会津高田駅から車で10分
- 【車】磐越道 新鶴スマートICから車で10分(ETC専用IC)磐越道 会津若松ICから車で25分
- 【お問い合わせ先】TEL.0242-54-6090



Contents

2021 July Aizu Fan

- 巻頭特集
1500年の時を超えて、仏都会津・祈りの道
会津まほろば街道を往く ②
- みんな知ってた? 会津の「人・物・歴史」 ⑨
- 会津 DE 体験!! 噂の(マル)やってみた ⑩
化石発掘体験/高郷町
- 会津原寸大図鑑 山姥のかもち ⑪

- 会津まち歩記 喜多方市高郷町 ⑦
- 会津の温泉 ⑬
- リレーで繋ぐ「会津の人」/フロン会津ファン ⑭

AIZU イイモノ

会津たかさと産こしひかり「**美米**」
こづちやま棚田の会(小土山活性化実行委員会)
代表 橋谷田 弘山
TEL.0241-44-2631



会津まほろば街道を往く

「薬師様は、浄土世界からはるかに遠く離れた瑠璃光世界の主で、生きとし生ける人間のたのめのお仏様です。1100年もの間、私たちの願いを聞き続けてくれたのですから、本当にありがたい薬師様なんです」と齋藤さん。上宇内薬師堂は、毎年9月12日の縁日に限り予約不要・拝観無料になります。それ以外の日の拝観は、事前予約が必要です。

●DATA【上宇内薬師堂】
■住所／福島県河沼郡会津坂下町大字大上宇内村北甲809 ■拝観時間／9:00~16:00(1週間前まで要予約) ■拝観料／1人500円 ■駐車場／あり
■TEL.0242-83-1953(管理者 齋藤満)



管理者の齋藤満さん

▲薬師如来と信者の守護を誓った「十二神将」。上宇内薬師堂には十二神将のうち波夷羅(はいら)大将・頻伽羅(あいら)大将・安底羅(あんてら)大将・伐折羅(はさら)大将・珊底羅(さんてら)大将の神将像五躯も安置されている

▼通称「会津大佛」と呼ばれる金色に輝くご本尊は、寄木造りで高さ2.4m。後光を表す背中の「舟形光背」には、びっしりと千体仏(小さな仏像)が並びます。下部の足りない部分は、太平洋戦争で出征する兵士がご守りの代わりに授かり、戻すことができなかった分だそうです



▲悪病を退散させる上宇内薬師堂のご本尊。会津五薬師のうち西に位置することから「西方薬師」とも呼ばれている

1100年の歴史を
令和に伝える「薬師如来」

寺となり、境内に建てられた薬師堂に「ごちのの薬師如来が安置されたのだそうです。」

その後、二度の洪水と1611年の会津大地震に遭い、薬師堂は荒れ果ててしまいます。元禄4年、道安が30年近く托鉢をし、浄財を蓄え現在の場所に再建しました。諸仏を修復した際、薬師如来の衣は赤に色付けされました。いつの頃から金箔はがれ、衣の赤も失せ、黒い漆の像になったとのこと。上宇内薬師堂管理者の齋藤満さんも子ども時代は「黒薬師」と呼んでいたそうです。

会津盆地の南西にある古刹
奈良時代後期の建立「法用寺」

「会津まほろば街道は、会津盆地を見下ろす西側の山裾を進む古道の呼び名です。往時は、出羽三山(山形県)へと通じる修験者の道だったとか。」

街道としての魅力は、やはり風光明媚な里山に、奈良・京都・鎌倉・平泉とともに仏教文化が繁栄した「仏都會津」の神社仏閣や文化財が点在していることでしょう。里人たちが1500年の時を超えて歴史や文化を守り伝えてきた地に広がる田園風景、日没時に響きわたる梵鐘が、街道を行きかう人々の心を癒します。

法用寺は、会津で二番目に古い寺院です。奈良時代後期に得道(徳道)上人によって建立されるも平安時代に焼失。大同3年、徳一大師がこの地に再興したと伝えられています。年月を経た木組みの重厚さに圧倒される観音堂は、江戸中期に建てられたものだそうです。垂木や梁、木鼻なども見逃さずあります。

お堂には、ご本尊の十一面観音(火中仏)の国の重要文化財「法用寺本堂厨子及び仏壇」「金剛力士立像」、県の重要文化財「木造十一面観音立像」などが安置されています。



▲法用寺観音堂(雀林観音堂)。会津33観音第29番札所。春は、会津五桜の一つ「虎の尾桜」が訪れる人を喜ませます。大イチョウが色づく10月には、「法用寺奉納菊花展 観音堂同時御開帳」が開催されます



法用寺 高宮 顕大副住職

●DATA【法用寺】
■住所／福島県河沼郡会津美里町雀林三番山下3554番地 ■駐車場／あり ※観音堂内の文化財の拝観は、御志納金、事前予約が必要です。
■TEL.0242-54-6090(福泉寺)



▲金剛力士像。口が開いている阿形も、閉じている吽形も威圧感を抑えながら深い胸中を表現

「上宇内薬師堂」
里人が大切に守り
続けてきた西方薬師

会津五薬師の一つ「上宇内薬師堂」は、江戸時代に再建され、以後地域の人々によって維持管理されてきました。奥の収蔵庫に安置されているご本尊、薬師如来坐像は、183cmもあるケヤキの一本造りで国の重要文化財です。10世紀頃の作といわれ、胸板の厚い豊かな身体と穏やかなお顔が特徴。



▲木々に囲まれるようにして建つ薬師堂

夕暮れ時、境内に梵鐘の音が鳴り響く
会津大佛、花のお寺で知られる「願成寺」

願成寺は、浄土宗の開祖・法然上人の高弟隆寛律師によって開山された古刹です。鎌倉時代の作といわれる本尊の阿弥陀如来と、脇侍の観音菩薩、勢至菩薩は、国の重要文化財です。願成寺も大地震や洪水、戦乱により会津の人々と共に耐え忍んだ歴史があります。

津田俊良住職によれば、「会津藩の初代藩主・保科正之公が本堂を再建、三尊像と旧阿弥陀堂を二代正経公、和様と唐様折衷の山門などを三代正容公と、会津藩三代の太守の大きな助けによって復興いたしましたこと。」

さらに、先代の六十三世映譽上人による昭和の大改修、檀家さんたちによる植栽などが実を結び、現在は桜やあやめ、シヤガ、さつき、紫陽花などの花々が彩る「花のお寺」としても親しまれています。



▲高寺山遺跡から発掘された土師器長胴甕(奈良時代8世紀中頃)

会津まほろば街道周辺には、遺跡や古墳も数多く点在します。西に連なる丘陵地帯の一角、周囲よりも100mほど突き出た高寺山は、前出の上下内薬師堂でもふれた「高寺伝説」の舞台となった山です。麓の村には、高寺が滅びる時に宝を隠したという財宝伝説も伝わっているとか。明らかにしたいと地元からの要望もあり、会津坂下町教育委員会では2018年から高寺山遺跡の発掘調査を実施してきました。同町埋蔵文化財センターで「高寺山遺跡速報展」を開催中と聞き訪ねてみました。

果たして財宝は？ 展示室の企画展コーナーにあったのは、奈良時代中頃から平安時代末期頃にかけての遺構や遺物の実物や写真など。解説を会津坂下町教育委員会 生涯学習班文化振興係専門員の吉田博行さんにお聞きすると「古代を通して高寺山遺跡が存続していたことが明らかになりました」と、教えてくださいました。平安時代前半には、高寺山に山寺が建てられ、平安時代後半に大規模な改修工事が行われた際に、八角田堂が建立されたことなどもわかりました。

発掘調査を通し、会津最古の山寺跡の存在が明らかに「高寺伝説」

陸と水の道を通して技術や文化を享受し合っていた

奈良時代になると北関東あたりから渡来系の集団や修験者たちがやってきます。盆地を見渡せるランドマーク的な高寺山の山頂で、宗教儀式のために、物を燃やした護摩壇ではないかと思われる跡や、山寺の根拠となる仏鉢も見つかりました。会津盆地の中心を流れる阿賀川に、四方から水量豊富な川が流れ込み、交通の便も良いこの辺りは、大和朝廷の時代から北方の玄関口として来、交流も盛んに行われてきました。その証として存在する遺跡や古墳から立ち上っているのは、会津と大和の人々が水と陸を介した交流を通して、技術や文化を享受し合っていた姿です。

仏像などは時代が合わないものもあり、伝説と史実と異なる部分もあるようですが、調査の原点となった伝説を想像しながら見ているとワクワクが止まりません。同速報展は、2021年秋まで開催予定です。

高寺伝説

今から1000年以上も昔、唐の梁国 から僧侶が会津にやってきました。名前を青岩(巖)といい、根岸(今の字内)の山上に草庵を結んで人々に仏教のありがたを説いてまわりました。高いところにある寺なので「高寺」と呼ばれ、いつしかその山も高寺山と呼ばれるようになりました。「流紋岩」所収「高寺惠隆寺千手観音縁起」に以上のことが記されています。その後、僧の数も増え繁栄したが、慧日寺との争いに敗れ寺は消失しました。「(広報あいつばんげ)2019年1月号より)

- DATA [会津坂下町埋蔵文化財センター]
- 住所/福島県河沼郡会津坂下町大字青木青木139 ■開館時間/9:00~16:30 ■休館日/土曜日・日曜日(事前予約で休館日の見学も可能。5日前まで連絡を) ■観覧料/無料 ■駐車場/あり ■TEL.0242-83-1421



▲会津坂下町埋蔵文化財センターの企画コーナーで開催されている「高寺山遺跡速報展」。ご神体と考えられる石(流紋岩)の出土状況(写真手前)などが展示されています

まほろば街道沿いの「寄り道観光スポット」

せせらぎ公園オートキャンプ場

阿賀川沿いにあるキャンプ場。気軽なデイキャンプから本格的なロングステイまで可能です。本格的なモンゴル式テールもあり、手ぶらで一味違ったキャンプが楽しめます。



住所/大沼郡会津美里町字家東甲4224-2
TEL.0242-57-1225
https://aizu-misato.jp/
営業時間/午前9時 ~ 午後5時
開園期間/4/1~11/30(定休日なし)
駐車場/無料
使用料金/お問い合わせください



スタッフ小瀧剛志さん

新鶴ワイナリー

2019年春、会津美里町新鶴地区ふれあいの森公園内にオープンしたワイナリー。新鶴地域で栽培された「ぶどう」や「りんご」などの果実からワインを醸造し販売しています。



住所/大沼郡会津美里町新鶴野辺字下長尾2398
TEL.0242-23-9899
https://www.aizucoshell.com/
営業時間/10:00-16:00
定休日/毎週月曜日
(祝日の場合は翌日)
駐車場/無料



ワイナリースタッフの皆さん

割烹旅館「松林閣」

その名の通り広大な松林に囲まれた、会津建築様式の外観。厳選された会津の蕎麦粉を使った十割そばがおすすめ。宿泊のお部屋には座敷わらしが出る?とか?!



住所/河沼郡会津坂下町大字大上字森北1100-61
TEL.0242-83-0500
http://syourinkaku.jp/
営業時間/11:00~14:30
定休日/(ランチ)休業日 無休
料金/天ざるそば1,650円(税込)
※宿泊と日帰りランチがご利用いただけます



若女将上野智子さん



六十四世 詩譽俊良住職



▲本堂正面にある初代正之公の花菱。二階建ての楼門造りの山門には南北に三代正容公の花菱があります

- DATA [叶山 三寶院 願成寺]
- 住所/福島県喜多方市上三宮町上三宮字籬山833 ■拝観時間/9:00~17:00 ■拝観布施/1人300円
- 駐車場/あり ■TEL.0241-22-1565
- https://aizudaibutsu.com/



▲1日2組限定の客室は、古民家に付いていた蔵の古材が利用されています。風の音や里山の静寂を満喫してほしいと、館内にはテレビは置いておりません



▲にしん飯、手打ちそば、ごつゆなどの昼膳や懐石料理を楽しめます(昼夜とも完全予約制)。専属のそば職人が山都産の地粉を使い「外一(といち)」と呼ばれる打ち方で打つそばを、料理に合わせた自家製つゆでいただきます



志ぐれ亭 代表取締役 志村 秀実さん

▲築100年の古民家を瓦葺きにした屋根以外、ほほそのままだ再現。雲のない夜は、庭から天の川もみられます

- DATA [いろいろ古民家の宿 志ぐれ亭]
- 住所/喜多方市上三宮町吉川字日照畑374-1
- 営業時間/昼の部11:00~13:00 (入店)夜の部17:00~19:00(入店) ※完全予約制
- 定休日/毎週火曜日
- 宿泊/15:00チェックイン、10:00チェックアウト(一部屋の定員は3名様まで)
- 駐車場/あり
- TEL.0241-24-4905
- http://www.shiguretei.com/

里山の豊かな恵みを 志ぐれ亭 召しあげ

はるか東に磐梯山、目下には、空の青を映す田んぼ。目にもまぶしい緑の稲が、その穂を垂らす秋は、吹き渡る風まで黄金色に染め上げます。冬は、白鳥が落ち穂を拾いに舞い降りる…。そんな一幅の絵画のような風景の中にあるのが、会津まほろば街道沿いに建つふるさと懐石・いろいろ古民家の宿「志ぐれ亭」です。

街道とのつながりも深く、志村さんのお母様が有志の方々を取り組んできたことが、街道整備事業へとつながったというエピソードも。街道名を「まほろば」としたのは、奈良盆地に風景が似ていることが所以になっているそうです。「いにしえから今日まで、人々が守り続けてきた歴史、文化、里人の素朴な営みがそのまま残っているところが、会津まほろば街道の魅力です」と志村さん。

趣のある築100年の古民家は、一軒丸ごと分解し西会津の山奥から移築し、かつての姿を再現したものだそうです。元の家主は、新潟へ

と流れる阿賀野川を利用し、渓谷の巨木を越後の材木商に納めていた名家の方。ご縁があって志村さんが譲り受けました。「間取りはもろもろ奥座敷の白木、建具、床の間など往時のままです」。

中でも信仰深い会津でも珍しいという見事な三体の神棚と、暮末に活躍した会津藩士・武井満太郎の漢詩の書が貼られた襖は必見。大正時代のレトロなガラス入りの欄間や、囲炉裏、階段筆筒などは、眺めているだけで癒されます。

部屋ごとに専用食し切りとなるお風呂の木曾サワラの浴槽は、漆塗り。漆には、お湯をまろやかにしてくれる効果があり、身体が芯から温まりリラックスできるそうです。ご宿泊の他に、限定昼膳や祝事などの日帰りのお食事でも利用いただけます。

四方を山に囲まれた自然豊かな高郷町は、地元の人
が愛してやまないディープなおいしいものが
たくさんあります。1千万年前は海底だった大地、
山、川、里の恵みを堪能しましょう。

1 高郷見晴らしの丘 池ノ原展望台

速くに飯豊連峰が広がり、阿賀川や県営荻野漕艇場、新郷ダム、雷神山花の森、などが一望できるビュースポット。新緑、紅葉も写真に撮りたい映えスポットです。
☎喜多方市高郷町池ノ原



高郷町を一望できる展望台

2 大谷直売所

大谷地区の皆さんが運営している直売所。朝収穫したばかりの季節の野菜などが並びます。値段は、ほとんどが1袋100円と格安！春はワラビやコゴミ、セリ、ウドなど、夏は種類も豊富な野菜、秋は、甘味と旨味たっぷりのレンコン(9月以降)、クルマヤクリなどのナッツ類も人気があります。
喜多方市高郷町上郷字前田
期間/毎年4月~11月(冬期クローズ)



気軽にフォローしてください！
喜多方市高郷町 Instagram
高郷町のおすすめやイベント情報もアップしています！

7 吉田屋食堂

高郷町と言えば、生ホルモン！塩水で丁寧に処理した新鮮な生ホルモンは臭みもなく、美味！ジュージュー、自分でしっかり焼いたら特製ニンニクつけダレで召し上がれ！噛むほどにおいしくて、ご飯が止まらなくなりますよ。



▲決め手は特性つけダレ！

喜多方市高郷町上郷字馬場頭戊138
☎0241-44-2136
🕒11:00~14:00、17:30~21:00(要予約)
📅第2・第4日曜
ほかに不定休あり

歯磨えがたまらない生ホルモン！



▲ホルモン1皿(400円)。これに野菜とライス(スープとお新香付き)をオーダーすれば完璧

6 会津錦

高郷町に六代続く蔵元です。世代交代時に酵母からすべて切り替え、近年は酒造好適米ではなく地元産の食米で大吟醸まで醸す珍しい酒蔵です。ご飯を噛みしめた時のような味わいの甘みが特徴。日本酒が苦手な人でも、このお酒なら飲めるというお客様も多いとか。まずは、一杯いかがでしょうか。

自慢の
おいしいお酒、
ぜひ飲んでみて
ください！



▲六代目、齋藤孝典さん

喜多方市高郷町西羽賀字西羽賀2524
☎0241-44-2144
※見学は事前にご予約ください



▲無濾過の生原酒「さすけね」(720ml1,450円)
純米原酒「Qku」(720ml1,350円)
数量限定原酒「棚田の煙」(720ml1,650円)

5 (有) 梶屋 伊藤醸造店

梶屋からスタートし、昭和53年から天然味噌の醸造、委託加工を行っています。原点の糴づくりは、母から娘へと受け継がれ、吟味した国産の材料と良質の水、天日塩で寒仕込みをしています。丁寧に作られている味噌は甘みと旨味のバランスがよく、地域に愛されています。

喜多方市高郷町上郷字恵座丁72-2
☎0241-44-2966
🕒9:00~17:00
📅日曜・祝日



◀伊藤醸造店の味噌は木桶仕込み。時間とともに味わいを育てます



▲特選味噌(1kg 864円)、おでん味噌(540円)、からしっ子(486円)



◀おでん味噌とマヨネーズを混ぜ合わせる「味噌ディップ」は、野菜がもりもり食べられると評判。すりゴマを入れると風味も栄養価もUP!

3 大谷直売所

3 ふれあいランド高郷



春には一面に花々が咲き誇ります



ダムカレーは見た目も味も楽しめる！

3 ふれあいランド高郷

眺めのいい日帰り温泉施設です。泉質は硫酸塩泉で、刺激が少なく肌に優しい温泉です。食堂のおすすめは、そば処会津の中でも格別と通をうならせる「雷神そば」です。名人たちが地元のそば粉100%で毎日打つそばは、コシとツルツとした喉ごしが魅力。阿賀川のダムをイメージした新郷ダムカレーは、ご飯の中に化石に見立てたお楽しみが埋められています。

喜多方市高郷町湯津字袖山3054-9
☎0241-44-2888
🕒9:00~21:00
利用料金:大人500円、小学生300円



▲新郷(しんごう)ダムカレー(600円)



温泉のあとは美味しいお食事を！

▲「美人の湯」ともいわれる温泉。大浴場、露天風呂、薬草風呂などがあります。



▲お食事処「雷神亭」のたぎるそば(1,200円)

4 蔵カフェ・アートギャラリー 水織(みずおり)

山里の小さな集落に建つ築200年の蔵を、大人の空間にリノベート。アートギャラリー&田舎ごはんカフェを切り盛りするのは、小林さん母娘です。季節の食材で作る「水織ごはん」(10食限定)は、会津の郷土料理「こづゆ」付き。野菜と果物を絶妙なバランスで組み合わせた「食べるスムージー」は、おかわりしたくなるほど美味！蔵の雰囲気を楽しみながら、癒しのひと時をお楽しみください。

喜多方市高郷町湯津字上野甲402
☎080-6011-0211
完全予約制
🕒11:30~18:00(時間外応相談)
<https://office336.wixsite.com/mizuori>



▲「水織ごはん」(1,300円)

見た目も華やかで心も体も満足！



蔵カフェでゆったりとした時間をすごしませんか？



▲「食べるスムージー」(700円)

※2021年6月現在の情報です。

みんな知ってた？

会津のひとものれきし

会津の人・物・歴史

うまい

美米・高郷ザーサイ

地域に新しい特産を！
挑戦し続ける有志たち



喜多方市高郷町の名物を増やそうと地元有志7人で活動しています。名物の一つが棚田で育てた安心安全の「美米」(品種コシヒカリ)です。この辺りは、山間地で平地が少ないことから地形を利用して棚田を作り、「富士山」と呼ばれている標高600mの麓から湧き出る伏流水を引いて育てています。



風光明媚な棚田。休耕田にザーサイを育てる計画も

もう一つが、「畑のアワビ」とも称されるあのコリコリとした食感が魅力のザーサイです。2015年度から行っていた「農都交流事業」で出会った方の紹介で取り組みを始めました。国内で食べられているザーサイの約9割が中国産と知っ

て、ならば希少な国内産ザーサイを育てて、保存料なしの商品を開発してみようと思いました。現在、約10tのザーサイを栽培しています。8月末から12月初旬に収穫するのですが、試行錯誤の繰り返しで、茎の表面部分がコブ状にふくれるはずですが、なかなか上手くはいかず、データを持ち寄っては研究を続け、少しずつ成果が現れはじめました。昨年からは、くまとまっていた量が収穫できるようになり、試験的に収穫して塩漬にしたザーサイ(葉入り)をJA会津よつば(喜多方市の直売所)で販売しています。近くにお越しの際はぜひ！

塩漬け高郷ザーサイは、半日程度塩抜きをしてから炒飯や海苔巻き、具材にするとおいしいですよ。葉っぱも使ってみてください。「ザーサイラーメン」とかできたらなああと夢を膨らませ中！



橋谷田弘由さん
たかさと元気な農村プロジェクト会長



ザーサイの葉っぱも一緒に塩漬けにして販売しています



極上特別栽培米「美米」。粘りがあって、うまみがあって、さてもおいしいお米です。購入を希望の方はご連絡ください

たかさと元気な農村プロジェクト
小土山活性化実行委員会
喜多方市高郷町警見字岩乙1806
TEL.0241-44-2631

会津坂下町古墳群

古代会津地方を物語る
歴史的価値のある古墳群

会津には多くの古墳が今も残されており、その多くが自由に見学することが出来ます。今回紹介している会津西部で見学できる代表的な古墳が、杵ガ森古墳と亀ヶ森古墳、鎮守森古墳です。

会津坂下町の市街地に所在する杵ガ森古墳は、東北地方でも最も早い3世紀の後半ごろにつくられた前方後円墳です。周囲には稲荷塚遺跡という遺跡が広がり、小型の古墳が杵ガ森古墳を囲んでいます。杵ガ森古墳と稲荷塚遺跡は現在公園として残されており、遊具の上から古墳を眺めることができます。



亀ヶ森古墳(国指定史跡)



亀ヶ森古墳内にある青津観音堂



亀ヶ森、鎮守森古墳の立地が見てとれる



杵ガ森古墳



鎮守森古墳(国指定史跡)

阿賀川近くの会津坂下町青津にあり、全長127mで、福島県内では第1位、東北地方でも第2位の規模をもつ前方後円墳です。鎮守森古墳は、亀ヶ森古墳のそばにつくられた前方後円墳で全長55mの規模をもちます。どちらの古墳からも墳輪が出土しており、墳輪の特徴から4世紀に造られたことがわかりました。

会津の古墳は全国でも有名で、日本の歴史を説明するうえで重要な古墳が多いです。ぜひ、古代会津を生きた人たちが造り上げた古墳を訪れてみてください。

古墳から出土した土器や埴輪は、会津坂下町埋蔵文化センターや福島県立博物館で展示しております。会津の古墳はまだ謎が多いです。今後の発掘調査研究で新たな発見に期待ください！



平澤 慎さん
福島県立博物館 学芸員(考古学)

会津 DE 体験

噂の○○○○やってみた。

化石発掘体験

at カイギユウランド
たかさと「喜多方市」



1000万年前まで一帯が海だったという喜多方市高郷町は、あちらこちらで化石が見つかります。大地はグリーンタフと呼ばれる緑色凝灰岩で占められ、その石は「荻野石」として切り出されています。町内を巡ると石垣が多いことに気づきますが、納得です。

アム「カイギユウランドたかさと」に展示されています。ちなみにカイギユウとは、かつて海にいた哺乳類で、ジユゴンやマナティの仲間です。玄関でお出迎えしてくれる「アイツタカサトカイギユウ」は、町内で発見された新種とのこと。すごい大発見ですよ。



無事に発掘できました！



行って見て発掘しよう
1000万年前の
化石発掘体験

200万年前に陸地になった高郷町には、塩坪層と呼ばれる海成層が分布。地層の厚さは約100mもあります。これまでに、貝やウニ、サメの歯や魚の骨など多くの化石が発見されています。古くは江戸時代、会津藩士の田郷三省が著した「会津石譜」にも、一帯が貝化石や竜骨が産する所と記されています。

1970年、塩坪層からクジラ類の骨化石が初めて発見されると、その後、カイギユウやサメの歯化石など、地元の人の手によって相次いで発見されました。それらの貴重な化石は、2007年に閉校となった小学校の校舎を活用して化石ミュージジ



もしも息を割れば



硬くてうまく石が割れない



まずは道具の使い方を



大変貴重な「メガロドンの歯」の化石もある!



カイギユウランドたかさと

喜多方市高郷町西羽賀字和尚堂3163 TEL.0241-44-2024
入観料 / 未就学児無料、小中学生および高校生100円、
一般250円、化石発掘体験350円
休館日 / 月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始(12/29~1/3)
開館時間 / 9:00~16:30
https://www.city.kitakata.fukushima.jp/site/kaigyuu/27433.html

猪苗代町に伝わる「山姥のかもじ」やまば

深い山中には不思議なモノが潜んでいます。猪苗代の布森山にいたという山姥もその一つ。ある時、これを退治しようとした男がいたのですが、惜しくも逃げられてしまいます。彼の手に残ったのは、山姥の髪の毛だけでした。これを取り返そうと山姥は夜毎訪ねてきました。男はついに返しませんでした。それが仇となり、彼は子どもを山姥に食い殺されてしまったそうです…。

この髪の毛が「山姥のかもじ」（かもじは付け毛のこと）と呼ばれ、猪苗代町のある家に伝えられていました。ところが、これを持っていると不幸になるといって持ち主が転々と代わり、ついに町が管理するようになります。その後、福島県立博物館がお預かりし、現在も大切に保管しているのです。



実は、「山姥のかもじ」はこれだけではありません。寛保二（一七四二）年に会津藩士三坂春編がまとめた『老嫗茶話』という奇談集にも登場します。こちらは、長さ2メートル以上の雪のように白いものだと書かれています。

会津の山にはそれほど多くの山姥がいたのでしょうか…。そんな不思議な気配が漂うのも会津の魅力なのかもしれません。

この夏開催の福島県立博物館の企画展「あはひのクニ あやかしのクニ ～ふくしま・東北の妖怪・幽霊・怪異～」では、福島県にゆかりの不思議なモノたちが大集合します。みなさんもぜひ会津の博物館に足をお運びください。



福島県立博物館

○住所 / 〒965-0807 会津若松市城東町1-25
○TEL / 0242-28-6000
○開館時間: 9:30~17:00 (入館 16:30まで)
○休館日 / 月曜日
○HP: <https://general-museum.fcs.ed.jp/>

●夏の企画展

**あはひのクニ あやかしのクニ
～ふくしま・東北の妖怪・幽霊・怪異～**

会期: 2021年7月17日(土)~9月26日(日)
入場料: 一般1200円(20名以上の団体960円) 高校生以下無料



山姥のかもじ

(猪苗代町教育委員会蔵 福島県立博物館寄託)

Full Scale Data 箱: 縦 / 21cm・横 / 8.5cm・高さ / 5cm 毛: 長さ / 約32cm

*「会津原寸大図鑑」は会津に関係のあるものをより身近に感じていただけるように、実物大(原寸大)で掲載・紹介するコーナーです。

パン屋さんになるきっかけは、結婚後新聞社を退社して、東京にあるパン作りの学校で学んだことでした。その後、東日本震災が起こり、カメラマンの夫は、震災の取材をしたという希望により、2014年に福島市に移住しました。その頃に、自宅でパン教室を始め、会津美里町への移住をきっかけに、パン屋を開業しました。



いわなみ 聡子さん
●いわなみ家
会津美里町八木沢太子堂東2845
販売：毎週火曜日と日曜日
午前10時30分～なくなり次第終了
詳しくはサイトをご覧ください。
サイト：https://iwanamike.com/access

熊本県生まれ、福岡県育ち、東京や大阪、福島市を経て、2019年の春、会津美里町に移住しました。子どもたちに「ふるさと」を作りたい、そんな想いから移住する前年から四季がはまりしている会津地域で古民家を探しました。会津美里町役場を訪ねたところ担当職員さんが、とても親身に話を聞いてくださり、素敵な古民家と出会うことができました。また、近くには新鶴ワイナリーがあり、ワインとパンは切り離すことができないもので、発酵文化が根付いていることも魅力の一つでした。移住後は、古民家を家族でリノベーションし、子どもたちも床を塗りながら、一緒に「ふるさと」を作っています。

いわなみ家のパンは「自家製天然酵母パン」。皮ごと食べることができる「ぶどう」や「リンゴ」などのフルーツを使って自家製天然酵母を作っています。時間をかけてつくる天然酵母パンは、小麦粉の芯まで水が入り、味の深いパンとなります。米どこの会津ではパン屋は流行らないと言われたこともありましたが、米の美味しさが分かる地域であれば舌が肥えているので、きっとパンも大丈夫！と自信がありました。

これからは、地域に末永く愛されるパン屋さんを目標に頑張ります。

子どもたちの「ふるさと」作り、そして地域に愛されるパン屋を目指して

リレーでつなぐ 会津人

春には一面菜の花が咲きそろう、山々と田園に囲まれた会津美里町八木沢地区。この自然豊かな地に2019年12月にオープンしたパン屋さんがあります。今回は、こちらのパン屋さんを営んでいる「いわなみ家」の岩波聡子さんを「紹介します」。

会津ファンクラブ事務局 事務所移転のご案内

一般財団法人会津若松観光ビューロー（観光物産事業部）の事務所移転に伴い、6月から会津ファンクラブ事務局も事務所が変わりました。



旧住所 〒965-0873 会津若松市追手町5-10-2F
新住所 〒965-0041 会津若松市駅前町1-1 (会津若松駅内)
一般財団法人会津若松観光ビューロー内
TEL.0242-23-8000 FAX.0242-23-9000
※電話及びFAX番号に変更ございません。



会津ファン感謝デー

会津ファンの皆さまへ日頃の感謝を込めて、「会津ファン感謝デー」を設定します。

●日 時 / 令和3年7月～令和4年3月までの毎月第3土・日・月の3日間

●開催場所 / 鶴ヶ城公園 / 御薬園(天守閣、茶室隣り)

会津ファンクラブ会員証提示でご利用いただける「入場割引」の他に、様々な優待特典を準備してお待ちしております。詳しくは、別紙チラシをご覧ください。

感染予防をしてお待ちしています

会員様プレゼント

喜多方市高郷町の伊藤醸造店「特選味噌・おでん味噌(セット)」を抽選で3名様にプレゼントいたします。

※会員様ごとの受付となりますので、この機会に是非、ご応募ください。

応募方法	宛て先
ハガキにて①住所②氏名③連絡先(電話またはメールアドレス)④ご希望のプレゼント番号⑤会津ファンについての感想やご要望⑥会津や鶴ヶ城についての思い⑦会員番号をご記入の上、ご応募ください。 ※当選は発送をもって代えさせていただきます。	〒965-0041 会津若松市駅前町1-1 (会津若松駅内) 一般財団法人会津若松観光ビューロー内「会津ファンクラブ」宛(8/31 消印有効)

湯つりのんびり 会津の温泉

ゆとり 本郷温泉 湯陶里 (日帰り温泉)



阿賀川の河川沿いにある日帰り温泉施設です。天気の良いと会津磐梯山も一望できます。泉質は硫酸塩泉で、動脈硬化や慢性皮膚炎などに効果があります。



4月～11月の間は、無料の足湯も楽しめるロポ!

住所：大沼郡会津美里町字六日町甲4106-1
TEL.0242-56-4364
料金：大人550円 小人300円 幼児100円
営業時間：10:00～21:00(受付：20:30)
定休日：水曜日(休日と重なる場合、翌日が休館となります)

しおり 糸桜里の湯ぼんげ (日帰り温泉)



会津坂下町の高台にある日帰り温泉施設。パノラマ大浴場や露天風呂からは、湯につかりながら磐梯山や会津盆地を眺めることができます。そして、会津のそば粉100%の手打ちそばも人気です。



夜には満天の星空を仰げる露天風呂もおすすすめロポ!

住所：河沼郡会津坂下町大字見明字堤堀2115
TEL.0242-83-1151
料金：大人600円 小学生400円
営業時間：9:00～20:00
食堂営業時間：平日11:00～14:00 土日祝日10:30～19:30
定休日：月曜日(定休日が休日の場合は翌日)
※新型コロナウイルス感染拡大により、臨時休業となる場合がございます。

会津若松市からのご案内 Information

会津若松市の「ふるさと納税」の返礼品をリニューアルしました



高性能な高級くし

会津若松市では、本市に寄附をしていただいた市外在住の皆様へのお礼の品として返礼品をお送りしております。令和3年6月1日にリニューアルし、寄附金額に応じた返礼品を多数ご用意しております。会津漆器・会津清酒、本市産米などの地場産品や、市内の温泉宿泊補助券のほか、会津地鶏の詰め合わせ、ランドセル、伝統産業と加工技術を融合させた高級くしなどを新たに加え、幅広いラインナップとしております。詳しくは下記のホームページをご覧ください。



酒どころ会津の清酒



市内で飼育した会津地鶏の詰め合わせ



自然の美しさが楽しめる温泉施設の宿泊補助券



伝統的工芸品の会津塗

※市内在住の方からの寄附へは返礼品をお送りしておりませんので、ご了承ください。



市内製造のランドセル

詳しくは市のホームページをご覧ください

〒965-0001 会津若松市役所 総務課(ふるさと納税)
TEL.0242-39-1211 FAX.0242-39-1410

あなたの理想の暮らしを、会津若松市で見つけてみませんか?

会津若松市 移住支援

住居を「来」てみらんしょ。
住居を「来」てみらんしょ。



転入者交流会の様子
会津若松市では、関係団体と協力して本市へ移住したい方のサポートを行っています。移住に関する補助制度やセミナー、相談会の情報をホームページに掲載しておりますのでぜひご覧ください。

〒965-0001 会津若松市定住・二地域居住推進協議会
会津若松市役所企画政策部地域づくり課内
TEL.0242-39-1202 FAX.0242-39-1403
mail/shinko@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp